浅口市立金光中学校 令和8年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和8年10月9日公表

全国学力・学習状況調査の概要

学　力　面

＜成果＞
○国語科では「書くこと」「読むこと」において、正答率が高い
○数学ではどの領域も全体的に全国平均よりも高く、特に「D データの活用」の領域では、全国平均よりも4ポイント以上高かった
○数学では評価の観点の「思考・判断・表現」では全国平均より6ポイント高く、問題形式の「記述式」も全国平均より6ポイント高い
○英語ではどの領域も全体的に全国平均よりも高く、特に日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取ることがよくできていた
○英語では日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取る問いが、全国平均よりも15ポイント以上高かった

＜課題＞
▲国語では「話すこと・聞くこと」において、正答率は岡山県、全国より高いものの、僅差である
▲数学では評価の観点の「知識・技能」が全国平均よりも高いが、差が近い
▲英語ではまとまりのある文章を書く問で点数が伸びなかった。全国平均とほぼ同じであった

学　習　状　況　面

＜成果＞
○一日1時間以上読書をしている生徒が多い
○基本的生活習慣が定着している生徒が多い
○ICT 機器を活用して情報収集・まとめ、プレゼンテーションなどができる生徒が多い
○学級活動や道徳で話し合い活動に積極手に参加し、自分の考えを表出しようとする生徒が多い
○英語の勉強が好きな生徒が多い

＜課題＞
▲将来の夢や目標を持っていると答えた生徒が少ない傾向にある
▲人の役に立ちたいと思ったり、困っている人を進んで助けようとしたりする生徒の割合が低く、人との関わりについて消極的な生徒が多い
▲相手に伝わるように文章構成を工夫しようとしている生徒の割合が低い

改　善　策

学　校　で　の　取　組

国語 ・ペアやグループ活動での話合いや自分の考えを述べる場を設定し、話の内容を捉えたり、自分の考えをまとめて述べたりすることができるようにする
・ワークシートや板書の工夫をする
数学 ・1年生の内容から基本的な問題を数多く取り組ませる。そのために、デジタル教材を活用し、多くの基本問題に取り組ませる
英語 ・まとまりのある文章を読む機会をできるだけ多く設定する。その際、意味のまとまりごとに意味を捉えさせるよう取り組ませる。
学習状況面
・日々の活動の中で行っている行為が、人の役に立っていることなどを意識づけられるような言葉かけをしたり、感謝の言葉をかけたりすることで、人と関わることの良さを感じられるようにしていく。

一貫教育 金光学舎 での取組

○中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間（「家庭学習がんばりカード」）を実施して、学習習慣・読書週間の確立を図る
○生活習慣強化週間「早ね!早おき!朝ごはん!金光 学力アップ大作戦」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る
○中学校区学校運営協議会の目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において友だちと学び合い、主体的に学習できるように、連続した取組を実践する。
○浅口市立小学校・中学校クロームブック学年別スキル表を活用し、各学年で系統立った指導を行う

家庭・地域へのお願い

○「家庭学習がんばり週間」を活用し、計画的な家庭学習の仕方についてアドバイスや励ましをお願いします
○メディアに触れる時間を定め、毎日守ることができるようにお願いします
○家族間の挨拶や和やかな会話を増やし、学校であった話を聞くことや頑張りを認める声かけをお願いします